

- ▶ 久留米市では、「森林経営管理制度」を活用した森林整備を推進するため、令和元年度から「森林経営管理制度推進業務」に取り組んでいます。効率的に業務を推進するため、久留米市、福岡県朝倉農林事務所、浮羽森林組合、専門コンサル会社（2社）が、それぞれの専門性を活かし、協働で業務に取り組んでいます。
- ▶ 令和2年度は、森林資源の分析や森林所有者への意向調査及び森林整備を推進するための以下の業務に取り組みました。
 - 意向調査の優先順位検討（樹種・傾斜区分図作成、林小班の路網からの斜距離の算出、管理されている森林・管理されていない森林の分類、林業適地・不適地の定義と分類、経営管理が行われていない森林の抽出等）
 - 意向調査等（意向調査・督促状の送付、意向調査結果の集計・分析、所有者不明森林の調査）
 - 森林経営管理制度の推進（集積計画（案）の作成、「森林カルテ」及び「久留米市森林経営管理制度推進フロー」作成等）

□ 事業内容

◆ 森林経営管理制度の推進（森林資源の分析、意向調査の実施等）

- 国土交通省所管の航空レーザ測量データや航空写真等を活用し、樹種・傾斜区分図の作成を行うとともに、意向調査並びに調査結果の集計・分析を行いました。
- 意向調査後の森林整備を推進するため、森林の現状の数値化・定量化及び「森林カルテ」作成を行いました。

【事業費】

16,962千円（全額譲与税）

【実績】

樹種・傾斜区分図等の作成（2,300ha）

意向調査の実施等（670件）

経営管理権集積計画の検討（2件）

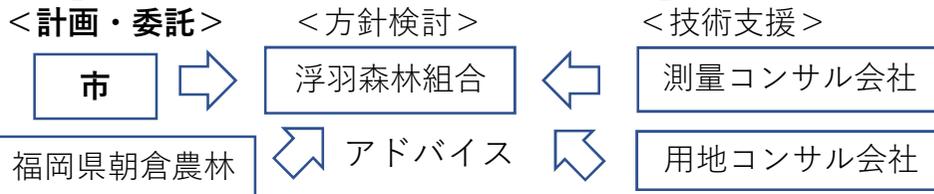
林業経営体のサウンディング調査



（現地協議）

□ 事業推進スキーム

【久留米市森林経営管理制度推進スキーム】



【意向調査コールセンター設置】

□ 工夫・留意した点

- 航空レーザ測量データを自前で持ち合わせない中、国土交通省所管のデータを借用し、樹種・傾斜区分図の作成を行った。
- 森林整備の方針を客観的に判断できるよう森林の現状を数値化・定量化した「森林カルテ」作成の検討を行った。
- 意向調査後、森林整備の方針を効率的に決定できるよう「久留米市森林経営管理制度推進フロー」を作成した。

□ 基礎データ

① 令和2年度譲与額	28,520千円
② 私有林人工林面積（※1）	1,390ha
③ 林野率（※2）	15.8%
④ 人口（※3）	304,552人
⑤ 林業就業者数（※4）	7人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より

